

平成26年12月15日

富士宮市長  
須藤秀忠様

富士宮地区労働者福祉協議会  
会長 小林 純一  
連合静岡・富士富士宮地域協議会  
議長 小林 純一



## 要 望 書

寒冷の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
日ごろの市政運営に対するご尽力と、勤労者福祉活動へのご理解とご支援に対して心から感謝と敬意を表します。

さて標題の件ですが、本年も昨年同様、富士宮地区労働者福祉協議会（労福協）と連合静岡・富士・富士宮地域協議会（連合地協）は、行政との連携を大切にしながら相互扶助の精神に立ち、「人とくらし、環境にやさしい福祉社会」の実現に向けた活動を進め、労働団体、福祉事業団体と連携して、環境・福祉・教育を中心に地域ネットワーク形成の活動を強めているところです。

つきましては、今後も勤労者ならびに市民のために今まで以上のご支援とご協力をお願いするとともに、下記の要望項目につきましても実現くださるようお願い申し上げます。

尚、本要望書に対しましては、文書による回答をお願いいたします。

### 【具体的要望事項】

#### 1. 市民生活に関する安全対策について

(1) 市内の学校は災害発生時の避難場所として指定される場合が多く、特に体育館は避難拠点としての機能が求められます。万一の災害発生による避難時には、情報収集や通信アクセスが困難となる為、インターネットが使用できるパソコンなどの通信機器は非常に重要なツールと考えられますが、ほとんどの体育館にはパソコンを利用する通信環境が整備されていない為、情報収集や通信手段として活用できるように、LANケーブルなどの設置を検討願います。

(2) 富士宮市内の小中学校の通学路は車道の幅が狭く、交通量も多いことから、登下校の時間において児童や生徒の安全が十分確保されているとは言い難い状況にあります。グリーンベルトや交通安全指導員の設置は安全確保の一助となっていますが、今後も継続的な安全対策は必要不可欠と考えます。新たなグリーンベルトの設置計画や交通安全指導員の増員等、富士宮市としての考えをお聞かせ願います。

(3) 今年4月に富士宮市立病院の整形外科は常勤医師1名による縮小体制となり、手術や入院が必要とされた患者の多くは市外の病院へ搬送されている実態があり、現在も受け入れ体制が整っていない富士宮市民は、非常に大きな不安を抱いています。この間も行政として医師派遣の要請活動を行っていますが、まだ新たな常勤医師は派遣されていない状況にあります。富士宮市として、今後の医師確保に向けた取り組みや市民が安心できる医療体制づくりについて、どのように考えているのか、ご教示願います。

(4) 今年の2月には観測史上例のない積雪を記録し、特に富士宮市の北部地域では、家屋の損壊や交通網が遮断されて帰宅困難になるなど、大雪には課題があることを市民が知る機会となりました。今回の大雪での市民生活や産業活動に大きな影響があったことを受けまして、今後の富士宮市の自然災害へのリスク準備や対応について、考えをお聞かせ願います。

## 2. 道路に関する安全対策について

(1) 市内の道路安全対策については、毎年多くの要望が寄せられています。現場確認を行い、実態調査の結果、市民の安全確保の観点から、以下の場所について早急な対応を検討願います。

① 県道白糸富士宮線を左折、管理者養成学校青木分校付近から上柚野方面へ繋がる道路上で、林に囲まれた箇所の見通しが悪く、カーブしながら急激に道幅が狭くなる為、対向車が見えないことから非常に危険であり、拡幅を検討願います。

② 青木平から県道184号線に出て来る道路は、道幅が狭く右折時は鋭角な為、見通しが悪く大回りしなければならず、その際右側からの車両確認が難しく大変危険な状況にあります。また、その道路に鉄板が固定されていますが、固定状態が悪く、固定鋸がパンクの要因となる為、カーブミラーの設置及び鉄板の固定状態の改善をお願いします。

③ 大岩付近、シンコーラミ工業第二工場前の道路を北側に向かう道路で、路面がひび割れなどで荒れており、破片の飛散や走行音による騒音など近隣住民に迷惑がかかる為、道路補修をお願いします。

## 3. 富士山世界文化遺産登録に関わる行政課題について

(1) 昨年、富士山が世界文化遺産に登録されたことで観光客数は、前年に比べて増加傾向となりましたが、観光客に富士宮市で滞在して楽しんでいただく為には、富士宮・西富士宮駅を含めた駅周辺の活性化が必要と考えます。しかし、現在の駅周辺には宿泊施設や駐車場が少なく、駅周辺の商店街は古く、飲食店も点在しており、観光客にゆっくり滞在して楽しんでもらえる環境でないのが現状であります。今後、建設予定である富士山世界遺産センターや浅間大社を

町のシンボルとして、富士宮らしい町並みや食文化を目玉に、観光客や地元市民が大いに魅力を感じる町づくりを進めていく為に、駅周辺の再開発や整備計画などあればご教示願います。

(2) 富士宮市には文化遺産の構成資産が多数存在する為、富士山登山を目的とした観光客のみならず、構成資産を活用した観光案内や観光ルートの確立により、多数の観光客に富士宮市を知っていただける環境づくりが出来ると考えます。また、市内北部には、下馬桜や曾我兄弟の墓、田貫湖や朝霧高原等、多くの観光スポットがあり、様々なアクセスルートを構築することができます。地域住民や来訪者に対する観光ルートの整理状況や告知方法について、進行状況をお聞かせ願います。

#### 4. 消費者教育推進協議会の設置について

(1) 消費者教育推進法案が施行され、消費者教育の機会を提供していくことで国民の消費生活の安定や向上に期待がされています。この可決された法案は地方公共団体において、消費者教育についての教材整備や消費者教育を担う人材育成を努力規定とし、併せて消費者教育推進地域協議会の設立についても求めています。昨年度からの継続要望になりますが、富士宮市に消費者教育推進地域協議会の設置をお願いし、併せて協議会設置の際には、労福協より従業員代表メンバーの委員として参画できるよう願います。

#### 5. フードバンク事業の協力要請について

(1) 2015年度から施行される生活困窮者自立支援法を前に富士宮市でもワーキンググループを結成し、同法に関わる相談窓口の本格実施に向けた準備を行っていると思います。今年の5月に県労福協や連合静岡をはじめ、NPOを含めた13団体の協力で、生活困窮者の食糧支援を行う為に「フードバンクふじのくに」を設立しました。フードバンク事業とは、食品企業の外箱印字ミスや破損により、流通できない食糧や家庭から余った保存食品を収集し、フードバンクが運営する倉庫で管理して、事前契約した福祉施設や支援団体に寄付する活動になります。富士・富士宮地域ではライフサポートセンター岳南事務所が食糧支援の拠点となっていますが、まだスタートしたばかりであり、広く市民の方々への告知ができていないのが現状です。福祉施設や市町社会福祉協議会からの食糧支援の要請が増加しており、今後「フードバンクふじのくに」の食糧支援活動について、広報誌へ活動内容や食料提供等、掲載いただけるようご検討願います。

以上